

おべ様が行く！（西北地域県民局の巻 その4）

よしや君：森林浴って気持ちがいいね～♪おべ様！

おべ様：そうだね。森の中はマイナスイオンに満ちているから、精神的なリラックス効果が得られるんだよ。これまで森林を大切に守り育ててきたお陰だね。

＜どっす～ん！！＞

よしや君：あれ？今、森の中で木が倒れたけど、木を切っているのかなあ～。

おべ様：ここでは、生長した木が混み合ってきたから、木の生育を促すために間引くための伐採をしているんだよ。このことを「間伐」というんだ。

よしや君：へエ～。間伐をしないと、どうなっちゃうの？

おべ様：木が混み合ってくると、森林全体が不健康になっちゃうんだよ。例えば、細い木ばかりになって木の根元まで日光が届かなくなるんだ。そして、下草が生えなくなると保水力が低下し、ちょっとした風や雨で木が倒れて表土が流出するんだ。森を守るためにも木を伐ることは必要なんだよ。

よしや君：なるほど、ガッテン。でも、せっかく成長した木なのに、もったいないね。

おべ様：心配ないよ、ヨッシー！間引いた木は、間伐材として利用されているんだ。ほら、あの斜面の崩れを抑えるための木柵は、間伐材が使われているよ。他にも、苗木を強風から守ったりする防風柵だって間伐材が使われているんだ。間伐材は、山の保全や木の生長を助けるために広く利用されているんだよ。



間伐材を活用した木柵工で土砂流出を防止します。

よしや君：あれ？あの大きなドングリの下に、赤ちゃんが生えているよ。

おべ様：ここではヒバを植えているんだよ。木を間引いたところに次の世代の植栽をしているんだ。

よしや君：何故そんなことをしているの？

おべ様：それはね、育てた木を少しずつ伐採し、新しい苗木をその場所に植えていくことで、枝や葉の高さが何層にもなる「複層林」を造成するためなんだ。そうすることで山の荒廃が防げるんだよ。雨水の地下浸透による保水力が確保されたり、土砂流出や洪水被害の防止機能が回復できるんだよ。



ドングリなどの下層木としてヒバを植栽（赤丸箇所）

よしや君：水もきれいになるの？

おベ様：そうだよ、森林の土壌は穴の多いスポンジのようになっていて、雨水や雪解け水を地中に浸透させ、水を貯えながらゆっくり河川に流すんだよ。その過程でにごりを抑えたり、窒素など水の汚れにつながる物質を取り除いたりするんだよ。

よしや君：飲み水としても、使えるんじゃない！

おベ様：勿論だよ。スーパーで販売されているミネラルウォーターだって、森林の伏流水が多く使われているよ。

よしや君：それじゃ～、今度、お店で探してみるよ。

おベ様：そればかりじゃないよ。森林を浸透してきた水は、ため池などに貯えられ、下流に広がる水田の農業用水としても利用されているんだ。森林は地域の生活を支える重要な役割を担っているんだよ。

よしや君：おベ様！あっちの方で、山を切り開いて、道路をつくっているよ。大丈夫かな？

おベ様：あれはね、森林の手入れなどをするために必要な道路なんだ。今までは道路がなかったから山の手入れも大変だったんだ。これからは作業も楽になるんじゃないかな。それに、道路をつくる時には、地域の人たちといろいろな相談をしながらつくっているから、地域の人たちが「使いやすく」「親しみのある」道路が出来るんだよ。

よしや君：そうなんだ。

おベ様：森林の手入れが行き届いていくと、大雨が降っても住宅地などを守ってくれるから、災害に強い安心な地域になるし、もっともっときれいな水がたくさん利用できるようになるよ。

よしや君：森林って、とても大切なんだネ。みんなで守っていかなきゃね。

おベ様：ヨッシー、だんだん分かってきたね。いいぞ。

よしや君：いや～、照れるな。(*^*)。

おベ様：あっ、そうだ。最近では、これまでの森林整備の他に、地域住民やボランティアの人たちが集まって植栽や下刈りをして、森林を育てていこうという活動も行われ始めているよ。森林は、日常生活に欠かせない水資源のかん養や山地災害の防止など、豊かな生活を営むうえで重要な役割を果たしているし、地球温暖化を抑止する効果や生物多様性の効果など様々な機能も持っているからね。

よしや君：これって、まさに環境公共の取り組みだよね。みんなで大切な森林を守り育てていかなきゃね！

おベ様：そ～なんです。

よしや君：んだな～。・・・・・・。

マイナスイオン。まいなすいおん。(^^)／。



道路計画について地域住民を交えてワークショップを開催



ボランティアによる下刈り作業